

### 第3回薬液注入工法の設計・施工法および試験法に関する研究委員会（WG5）

## 議事録

日 時：2013年3月29日 16:00～18:30  
場 所：株式会社 設計室ソイル 内  
東京都中央区日本橋 3-3-12 E-1 ビル 4F  
TEL 03-3273-9876

出席者：  
稲川雄宣（大林組）  
今井敬介（グラウト工業）  
岡田和成（日本基礎技術）  
新坂孝志（三信建設工業）  
利田靖治（東曹産業）  
高田（設計室ソイル WG5 リーダ）

計 6名

#### 資 料

- ・第2回 WG5 議事録
- ・アンケート送付先一覧
- ・アンケート用紙（案）

#### 議 題：

##### 1. アンケート内容と送付先について

（アンケート送付先）

- ・インターネット調査（調査者；稲川委員）により沈下修正業者 21 社を選定。
- ・討議により、3 社（ジオテック、東興ジオテック、三信建設工業）を追加する。
- ・その他、追加できそうな会社があれば、送付日までにメールにて報告する。
- ・送付は、簡便作業を第一に、メールを利用する。

（アンケート内容）

- ・アンケート用紙案を基に討議した。
- ・アンケートの目的を明確にした文書を添付する。（理由）何に利用されるのか理解されなくて、クレームが来たり、回収率が減る可能性があるため。
- ・アンケート用紙は、極力、回答者が簡単に答えられるよう、選択性にするなど修正する。
- ・アンケート内容（何を聞きたいか）は、今井委員が原案を作成し、稲川委員を中心にメール審議にて決めていく。
- ・アンケートの目的および内容をより明確にするため、NPO 浦安液状化復旧相談室（高階様）にヒアリングする（今、何が浦安市民から相談事項としてあるのか、そしてどのような資料が有効だと思うかなど）。

2. 報告書における WG5 部分の素案と役割分担について
  - ・ WG5（沈下修正に関する章）の報告書案として、①沈下修正注入設計の考え方、②今後予定しているアンケートの集計結果、③沈下修正注入事例の3つとする。
  - ・ ①は、当初、沈下修正注入のメカニズムであったが、難しくよく分からないのが実状である。それよりも注入量の決定（何㎡注入すればどの程度上がるか）が重要なため、設計の考え方としてまとめる。
  - ・ 主な節の担当として：①高田委員、新坂委員、②稲川委員、岡田委員、今井委員、利田委員、③今井委員、高田委員とする。
  
3. 話題提供（高田）
  - ・ 溶液型薬液の低注入率（7、14、21％）による液状化特性を把握するための原位置実験結果を紹介した。
  
4. その他
  - ・ 次会議は、未定とし、全体会議の結果を踏まえて決定する。

以 上